

【記入例】土石の堆積に関する工事の協議書

宅地造成及び特定盛土等規制法第15条第1項の規定による協議を申し出ます。				
〇〇年〇〇月〇〇日				
さいたま市長				
① 申出者 氏名		さいたま市長 〇〇 〇〇		
1	工事主住所氏名	埼玉県さいたま市浦和区常盤六丁目4番4号 さいたま市長 〇〇 〇〇		
2	設計者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇 株式会社〇〇設計 〇〇 〇〇		
3	工事施行者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇 株式会社〇〇建設 代表取締役 〇〇 〇〇		
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	埼玉県さいたま市〇〇区〇〇 〇丁目〇番〇の一部外 〇筆 (緯度：〇〇度〇〇分〇〇. 〇秒、 経度：〇〇〇度〇〇分〇〇. 〇秒)		
5	土地の面積	〇〇〇. 〇〇平方メートル		
6	工事の目的	整地		
7 工事の概要	ア	土石の堆積の最大堆積高さ	〇. 〇〇メートル	
	イ	土石の堆積を行う土地の面積	〇〇〇. 〇〇平方メートル	
	ウ	土石の堆積の最大堆積土量	〇〇〇. 〇〇立方メートル	
	エ	土石の堆積を行う土地の最大勾配	0度	
	オ	勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置	該当なし	
	カ	土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置	該当なし	
	キ	空地の設置	番号	空地の幅
			1	〇. 〇～〇. 〇メートル
			2	〇. 〇～〇. 〇メートル
	ク	雨水その他の地表水を有効に排除する措置	素掘り側溝の設置 (W300×H300 程度)	
	ケ	堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置	該当なし	
	コ	工事中の危害防止のための措置	立入禁止表示やロープ等により措置	
	サ	その他の措置	なし	
シ	工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		
ス	工事完了予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		
セ	工程の概要	土砂運搬の上で整地作業 (年間搬入量：〇m ³)		
8	その他必要な事項	なし		
※	受付欄	※	協議に当たって付した条件	
	年月日	※	協議番号欄	
	第号		年月日	
	係員氏名		第号	
			係員氏名	

- ①【申出者 氏名】 工事主※1の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ②【工事主住所氏名】 工事主※1の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ③【設計者住所氏名】設計者が法人の場合は、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ④【工事施行者住所氏名】工事施行者が法人の場合は、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ⑤【土地の所在地及び地番】工事に関連して一体的に使用する土地のすべての地番を記入してください。欄内に記入しきれない場合は「外〇筆」と記入し、別紙にて記入しきれなかった地番をすべて記載してください。
【代表地点の緯度経度】小数点以下第1位まで記入してください。緯度・経度を調べる際は、世界測地系に従って現地で計測するほか、国土地理院が公表している地理院地図等で確認する等の方法があります。
- ⑥【土地の面積】工事に関連して一体的に使用する土地の総面積を記入してください。
- ⑦【工事の目的】特定の工事に付随し期間が限定されるものか、特定の工事に付随せず一定期間運営するものか等について具体的に記載し、前者の場合は工事の期間についても記入してください。
- ⑧【土石の堆積の最大堆積高さ】土石の堆積行為により生じる最大の堆積高さを記入してください。
- ⑨【土石の堆積を行う土地の面積】審査の対象となる部分の総面積を記入してください。
- ⑩【土石の堆積の最大堆積土量】土石の堆積行為により生じる最大の堆積土量を記入してください。
- ⑪【土石の堆積を行う土地の最大勾配】土石の堆積を行う部分の地盤の最大の勾配を記入してください。
- ⑫【勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置】地盤の勾配が10分の1を超える場合において、堆積部の勾配を10分の1以下とし、土石の流下を防止するために、構台等の土石の堆積を行う面を有する堅固な構造を設置する場合に記入してください。
- ⑬【土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置】土石の堆積を行うことにより、地表水等による地盤の緩み、沈下、崩壊又は滑りが生じるおそれがあるときに行う地盤の改良その他の必要な措置を行う場合は、措置の内容を記入してください。
- ⑭【空地の設置】協議に必要な添付図面と照合できる番号を記入し、すべての空地の幅を記入してください。欄内にすべてを記入しきれない場合は、「別紙のとおり」と記入し、別紙にて記載してください。
- ⑮【雨水その他の地表水を有効に排除する措置】雨水その他の地表水により土石の崩壊が生じないように、適切な排水措置等の方法を記入してください。
- ⑯【堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置】鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講じるときは、措置の内容を記入してください。
- ⑰【工事中の危害防止のための措置】土石の堆積に関する工事が施行される土地の区域内に人がみだりに立ち入らないよう、措置の内容を記入してください。
- ⑱【その他の措置】他の欄に記入されていない特記事項がある場合に記入してください。
- ⑲【工事着手予定年月日】土石の堆積を開始する予定年月日を記載してください。
- ⑳【工事完了予定年月日】工事着手予定年月日から最長5年以内としてください。
なお、5年を超える土石の堆積については、当該協議成立の日から5年が経過する前に、変更手続を行い土石の堆積に関する工事の変更協議を成立させてください。
- ㉑【工程の概要】年間の搬入・搬出量等を記入してください。

〔注意〕

- (1) ※印のある欄は記入しないでください。
- (2) 3は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
- (3) 4は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- (4) 7リは、鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。
- (5) 8は、土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。

※ 2部提出してください。

- ②【その他必要な事項】土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。

※1 工事の請負契約の注文者又は請負契約によらないで自らその工事をする者